

第16回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

■日時：令和6年3月8日（金） 午後13時55分～午後2時10分

■場所：ビッグライフ滝沢大ホール

■出席委員（19名）（敬称略、順不同）

岡田 洋一（滝沢市副市長）
浦部 和之（岩手県交通株式会社）
八木澤 健（岩手県北自動車株式会社）
田村 淳（ジェイアールバス東北株式会社）
菅原 克也（公益社団法人岩手県バス協会）
大野 尚彦（一般社団法人盛岡地区タクシー協会）
樋口 潤（岩手県交通労働組合）
黒澤 明夫（滝沢市老人クラブ連合会）
上野 幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）
佐藤 光保（社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会）
村林 真悟（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
竹林 孝也（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
今 俊晴（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）
浅野 渉（岩手県盛岡西警察署）
庄司 裕二（代理）岩井 勝典（東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）
千田 芳（IGRいわて銀河鉄道株式会社）
小野寺 哲（岩手県盛岡広域振興局土木部）
大森 英樹（滝沢市都市整備部）
宇佐美 誠史（岩手県立大学総合政策学部）

■その他出席者

事務局：10名

■ 配布資料

- 第16回滝沢市地域公共交通会議 次第
- 滝沢市地域公共交通会議 委員名簿
- 第16回滝沢市地域公共交通会議 座席表
- 滝沢市地域公共交通会議設置要綱
- 【資料1】滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について
- 【資料2】小さな交通需要に対応した交通サービスの検討
[地域内交通の導入に向けた地域の主体的な取組みについて]
- 【資料3】盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について
 1. 広域計画（盛岡都市圏地域公共交通計画）の策定について
 2. 広域法定協議会の設置について
 3. 実施状況について
- 【その他】 次期 滝沢市地域公共交通会議の委員委嘱について



1 開会

事務局
佐藤

それではただいまから第16回滝沢市地域公共交通会議を開催いたします。
始めに本日の会の成立についてご報告申し上げます。本日の会議につきましては、委員24名中代理の方1名を含めまして19名の皆様にご出席頂いております。滝沢市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により、過半数に達していますので本日の会議が成立することを報告させていただきます。また当交通会議は要綱第6条第4項に基づき原則公開することとしています。後日会議の議事録をホームページに公開することで代用といたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。
続きまして滝沢市長武田哲よりご挨拶申し上げます。武田市長よりお願いいたします。

2 市長挨拶

第16回滝沢市地域公共交通会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。まず、委員の皆様におかれましては平素より滝沢市の様々な市政運営にご協力をいただき、本当に感謝申し上げます。そして、本日はお忙しい中このようにお集まりいただき感謝申し上げます。

さて、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されましたが、原油価格の高騰などで交通事業者の皆様は本当に厳しい経営環境だったかと思います。そうした中、我々市といたしましても昨年に引き続き各交通事業者様へ支援金の給付など、交通利用を促すような各支援策をやってきました。また、地域住民の悲願でありました小岩井駅舎の改修がJR東日本様のおかげで達成され、昨年11月に竣工、そして12月に譲渡ということになりました。12月のリニューアル式典には地域の方々も多く参加され、盛大に開催されたと思っております。そして、小岩井駅舎は築100年を超える建物でございますので、市として国の有形文化財の登録をこれから目指す運びになります。

そして本市では、現在滝沢市地域公共交通網形成計画の次期計画として、交通網を共にする盛岡市・矢巾町3市町で盛岡都市圏地域公共交通計画を策定する予定となっております。本日はそのことを皆様にご説明しながら様々ご審議いただくわけですが、まずは調査及び分析をはじめ、令和6年度中の策定に向けて現在協議を進めているところであります。

結びになりますが、委員の皆様におかれましては、本日は様々なご意見を頂戴いたしながらこの計画をしっかりと前に進めてまいりたいと思いますので、どうぞ忌憚のないご意見を宜しく願いたいと思います。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

佐藤

3 委員紹介

事務局：それでは新任委員の方もいらっしゃいますので、改めて本日出席されております委員の皆様をお手元の名簿順にご紹介致します。

～事務局より委員紹介、委員の自己紹介～

事務局：皆様どうぞよろしく願います。

佐藤

4 議事

事務局：それでは次第の「4 議事」に入りたいと思います。要綱第6条により会長が当会議の議長となることになっておりますので、宇佐美会長の議事進行にて宜しくお願いいたします。

(1) 滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取り組み状況について

宇佐美会長：それでは次第に沿って進めて参りたいと思います。

『次第4(1) 滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取り組み状況について』事務局より説明をお願いいたします。

事務局：都市政策課の篠原と申します。本日はよろしく願います。

篠原：～「滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取り組み状況について」を【資料1】により説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。ただいまの説明に対して質問やご意見ございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

(質疑無し)

新たに何か出てきましたら、後ほどお話いただければと思います。

(2) 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討について

宇佐美会長 : では次に進みたいと思います。

『次第4(2) 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討について』事務局より説明をお願いいたします。

事務局 : 都市政策課の畑中と申します。

畑 中 : ～「小さな交通需要に対応した交通サービスの検討」を【資料2】により説明～

宇佐美会長 : 只今のご説明に関して、ご質問ご意見ございませんでしょうか。

宇佐美会長 : では私から質問です。12ページの住民代表者ヒアリングというのは、自治会及びキーマンとなる協力者の両方なのか、住民代表者が何なのかというのをご説明いただけますか。

事務局 : 住民代表者についてご説明します。9月にワークショップを実施した際に参加された方から地域内交通について危機感をもった方がいらっしゃいました。その方にお声掛けし、再度柳沢地区における公共交通についてご相談したい旨打診したところご了解いただき、またその方を通じて地域内交通に「興味がある／危機感をもっている」方に相談し、11月と1月に意見の収集を行いました。

宇佐美会長 : とすると、ここにある自治会及びキーマンとなる協力者というのは、同じかもしれないし別かもしれないということでしょうか。

事務局 : そうです。今後の話し合いによって「キーマン」が同じ方になってくるかどうか、というところは未定の段階です。

宇佐美会長 : わかりました。他、何かございませんでしょうか。

(他、質疑無し)

では、引き続き今後もしっかりと進めていただければと思います。

(3) 盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について

宇佐美会長 : 『次第4(3) 盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について』事務局より説明をお願いいたします。

事務局 : 都市政策課の川又と申します。

川 又 : ～「盛岡都市圏地域公共交通計画の策定について」を【資料3】により説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。只今のご説明について、ご質問ご意見ございませんか。

宇佐美会長 : ご出席者は盛岡都市圏の公共交通会議とかなり被っていますので、会議に出られている方はお分かりと思いますが、例えば2ページの『「幹事会」がその役割を担うことから～(中略)～廃止(移行)する。』とある、その「幹事会」というものが当会議とどのような違いがあったりするのかなど、広域のメンバーでない方にもそういった面をご説明いただけますか。

事務局 川又 : はい。盛岡都市圏地域公共交通会議では全体会及び分科会の委員については既に決定しており、幹事会については3市町でしっかりと統一された見解が現在のところなされておきませんが、各市町の細かい部分の議論についてお願いする場として考えています。

宇佐美会長 : 都市圏の公共交通計画をつくろうとした際、そもそもビックルーフから出るバス路線をみても盛岡バスセンターへ行くように、盛岡と繋がった路線が組まれています。これまではそれぞれの計画であり、自治体の枠を超えて議論・決定することが難しかったこともありますし、また、事業者さんからすると市町それぞれに必要であった話を、広域であれば一度に行えます。一方で、それぞれで完結する部分までになると、全体で細かい議論まで必要になり非効率であることからそれぞれで議論するとよい、ということです。基本、ここで話し合われていることが続くということかと思われます。

宇佐美会長 : 他、いかがでしょうか。

菅原委員 : 今のお話について、そうすると、幹事会というのは今ここで開催している公共交通会議の範囲と同等の方々が集まるという理解でよろしいでしょうか。

宇佐美会長 : 事務局からお願いします。

事務局 川又 : 分科会よりも更に滝沢市に入り込んだような委員の方々をお願いしたい、と考えております。まだ1年ありますので、メンバーについてはご相談させていただきながら決めさせていただければと思っております。

菅原委員 : わかりました。ということは、分科会より細かなところの議論をする場・またそのようなメンバーで幹事会を構成するということですね。

事務局 川又 : はい、そのように考えております。

宇佐美会長 : 他、いかがでしょうか。

今年度初めて取り組んできた都市圏のことということもあり、どうやって都市圏全体のことと市内のことをうまく整理して議論していけるかという、やってみないと分からない部分はありますが、より良い方法を見つけていきたいと考えています。

宇佐美会長 : 他、特にございませんでしょうか。

(他、質疑無し)

(4) その他

宇佐美会長 : 続きまして、『次第4(4) その他』事務局から何かありますか。

事務局 篠原 : ～「次期 滝沢市地域公共交通会議の委員委嘱について」を(資料)【その他】に
より説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。

(補足) 新しい計画ができるころまでとなる為、通常2年任期のところ、次期は来年度末までです。

ご質問ご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では以上を持ちまして議事は全て終了しましたので、進行を事務局にお返し致します。委員の皆様のご協力ありがとうございました。

事務局 : 続きまして、『次第5 その他』として委員の皆様から何かございますか。

佐藤

佐藤委員 : この公共交通会議、利用者の為に一生懸命どうしたらいいのか考えているわけです。大事なことです。福祉バスも含め市役所や自分達の考え方と、利用者の気持ちと合っていないような気がします。一生懸命調査し、利用者や代表者の意見を聴いているとは思いますが、話を聞くといろいろな意見がたくさん出てきます。まとめきれていない、或いはまとめきれない、のではないのでしょうか。調査しても似たような結果であったり、結局のところ同じであったりします。そういった中で、より効果的な公共交通の在り方を、今までと違った角度で検討することも必要かと思えます。私達も福祉バスについて、利用はあるがもっと使ってもらえないものかと考えてはいるのですが。

利用者のための交通機関ということで、もう一度仕切り直し、考え直しをしてスタートを検討していただければどうかと思っております。

事務局

貴重なご意見をありがとうございます。

佐藤

その通り、公共交通を維持していくためには利用者の声、利用者の利便性は重要です。そうでなければ結果として空気を走らせることになってしまいます。利用者の声を拾うという点は我々も非常に課題と考えておりますが、同じ答えになったり同じメンバーだったり、我々もなるべく声を拾えるように周知徹底するなどしていますがなかなか難しいところです。今回の柳沢地区については、キーマンの方が本当に困っている方のもとに足を運び聞き取りしてくれることになっており、協力的です。住民の協力も受けながら、声を拾えるようにやっていきたいと思えます。公共交通全般としては、市では平成29年に計画をつくり利用促進策を中心に取り組んできました。公共交通を知らない人がいたり、乗り方が分からない人もいるなど、利用促進は大事と考えます。ただ近年は運転手不足やコロナも影響して公共交通が衰退し、一方で超高齢化社会になるにつれ公共交通を維持していかなくてはいけない、という状況です。

盛岡都市圏で取り組む意義については宇佐美会長からも話がありましたが、公共交通は交通圏で考えられていますので、広域交通圏の中で何とか持続可能な公共交通を確保できないかということを検討している状況でございます。

今までと同じようなネットワークではなく、限られたリソース、バスと鉄道の連携など有効な乗り継ぎを行わなくては維持は難しく、今回の広域も連動や再編を考慮し進めているところです。

利用者の意見もそうですが、今回ご参加の皆様の声を含めまして、来年度、利用しやすい、持続可能な公共交通について検討していきたいと思えます。忌憚のないご意見をいただければと思えます。

事務局 : その他よろしいでしょうか。

佐藤

(その他無し)

7 閉会

事務局 : それでは、都市整備部長の長内より一言ご挨拶を申し上げます。
佐藤

事務局 : 都市整備部長の長内です。委員の皆様、ご協力誠にありがとうございました。
長内 皆様のご意見を踏まえつつ、今後も取り組んで参りたいと思いますので、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

事務局 : 以上をもちまして『第16回滝沢市地域公共交通会議』を閉会させていただきます。本
佐藤 日はお忙しい中ありがとうございました。